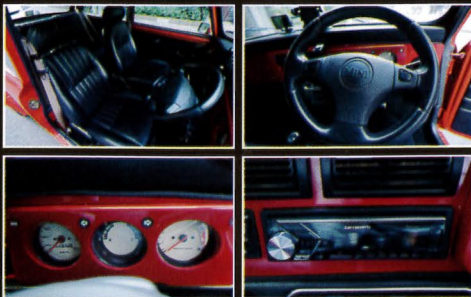




01. 一色づかいが好みということで、パイピングまで黒で統一されたポールのスミス純正シートをチョイス。02. ベース車はクーバーだが、ステアリングは黒一色のモノに変更。03. ポールスミスの影響から、3連メーターはボディ同様に塗装。04. カーオーディオはカロッツェリアをセット。



手入れが行き届いたエンジンルーム。ブロックが赤く塗装されているほか、プラグコードやラジエターホースも赤で統一。

黒を基調とした内装にボディ同色のインパネが差し色として映えることで、高級感だけでなく刺激的な雰囲気を与えている。



足もとにはSC製アロイホイール。マフラーはRC40サイド出し。バックランプは赤レンズをセット。



Owner: 大前 秀人さん

かつてポールのスミス車を10年ほど所有していたが、転勤のため、いちど手放してしまったという大前さん。3年前に大阪へ戻ってきたことをきっかけに、再びミニを手にしたとのこと。

ROVER MINI COOPER 1.3i "Mki SPORTS" style

'97 ローバーミニ クーパー1.3i

燃えるような赤いボディがスポーティな走りを連想させる

photo=YUNO text= 中島 健 ken nakajima

special thanks= インベリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780 <http://www.imperials.jp>

フレイムレッドに彩られたボディと、幅広のオーバーフェンダーの組み合わせが、情熱的な走りを期待させる。イタリア製のスポーツカーを彷彿させるこちらのミニは、大前秀人さんの理想がふんだんに盛り込まれた1台だ。大前さんによれば、現在の愛車でミニは2台目ということもあって、オリジナルの仕様を実現したくなったのだという。そこで大前さんは、大阪・箕面市にあるインベリアルクラフト大阪に相談。ご自身の希望と、同店の辻代表の提案をすり合わせたことで、トータルバランスを意識しながらも、唯一無二のスタイリングに仕上がったのだという。

「一色づかいが好きなこともあって、ボディの色

味には特にこだわりましたね。このほかにも、自分が気に入ったパーツを組み合わせることで、自分だけのスタイリングができ上がったと思います。内装はボディカラーと黒を組み合わせることで、シンプルかつカッコよく仕上がりました。ボディカラーにこだわる以上、どうしても気になってしまうのが塗装面だが、丁寧なオールペンでムラなく塗りあげられた点でも、大満足のご様子だ。

「状態がいいベース車が出てくるまで待ったこともあって、完成まで1年ほどかかってしまいました。けれど、時間がかかってもいいものが欲しかったので、その甲斐があったと思います」。

06

